

通し番号	5244
------	------

分類番号	R06-34-16-02
------	--------------

県西地域に適したアボカド品種の選定	
[要約] 県西地域に適するアボカド品種は、Aタイプの‘メキシコーラ’、‘ウインターメキシカン’、Bタイプの‘ベーコン’、‘フェルテ’である。	
神奈川県農業技術センター・足柄地区事務所	連絡先 0465-29-0506

#### [背景・ねらい]

アボカドは、熱帯果樹の中で比較的耐寒性があり、温暖な小田原市沿岸部の現地ほ場で植栽された樹でも結実が見られる。

そこで、比較的耐寒性が高いとされる品種を当所露地ほ場に定植し、生育状況を調査し、県西地域において栽培適性のある品種を選定する。

#### [成果の内容・特徴]

- 1 供試した全ての品種で、冬季の低温により葉の褐変や黄化等の症状が認められるが、枯死まで至る品種はなく生育する(図1)。しかし、‘ピンカートン’は、‘冬季の葉の褐変、落葉が多く認められ、花芽の枯死も多く認められる(図2)。
- 2 ‘エッティンガー’は、キューク(無核の果実)が多いため、4～5月の受粉期の温度が不足している可能性が考えられる。また、‘メキシコーラグランデ’は開花始まり開花終わりがともに早く、開花時期が他の品種とやや異なる(表1)。
- 3 着果数に年次差が認められるため、隔年結果性を示すと考えられる(表2)。
- 4 総合的に評価すると、県西地域に適したアボカド品種は、Aタイプで‘メキシコーラ’、‘ウインターメキシカン’、Bタイプで‘ベーコン’、‘フェルテ’の4品種である(表1)。

#### [成果の活用面・留意点]

- 1 Aタイプは午前に雌しべ、翌日の午後に雄しべが成熟する品種。Bタイプは午後に雌しべ、翌日の午前に雄しべが成熟する品種。両タイプを混植することで結実率が向上する。
- 2 ほ場の条件によっては、低温により枯死する可能性がある。
- 3 カメムシ類、炭疽病の対策が必要となるが、アボカドに使用可能な農薬は、銅水和剤(商品名：ICボルドー66D)および果樹類に登録のあるものに限られる(令和7年3月現在)。

[ 具体的データ ]



図 1 ‘ベーコン’の葉の褐変



図 2 ‘ピンカートン’の花芽の枯死

表 1 供試品種の特性評価

品種名	花タイプ	耐寒性	収量性	開花時期		総合	備考
				始	終		
メキシコーラ	A	○	○	4月上	5月中	○	
メキシコーラグランデ	A	○	○	3月下	5月上	× <sup>w)</sup>	<sup>w)</sup> 開花始、開花終ともに早い
ウィンターメキシカン	A	○	○	4月中	5月中	○	
ピンカートン	A	× <sup>x)</sup>	○	4月上	5月中	×	<sup>x)</sup> 冬季の落葉、花芽の枯死が多い
エッティンガー	B	○	× <sup>y)</sup>	4月上	5月下	×	<sup>y)</sup> キューク(無核の果実)が多い
ベーコン	B	○	○	4月中	5月中	○	
フェルテ	B	△ <sup>z)</sup>	○	4月上	5月中	○	<sup>z)</sup> -4℃程度で花芽の枯死が認められる

表 2 選定 4 品種の果実調査結果 (2023～2024年)

年	品種名	本数	収穫期間	合計 着果数	合計 収穫数	着果率 (%)	果長 (cm)	果径 (cm)	果重 (g)
2023	メキシコーラ	3	9/22～28	38	6	15.8	10.2	6.7	195.4
	ウィンターメキシカン	2	11/20	9	5	55.6	13.8	6.8	282.7
	ベーコン	1	11/10	203	157	77.3	9.7	7.6	277.5
	フェルテ	3	11/10	35	7	20.0	11.5	7.0	265.0
2024	メキシコーラ	2	9/26～10/15	62	32	51.6	10.1	6.8	209.3
	ウィンターメキシカン	3	10/29～1/17	37	29	78.4	12.8	6.5	255.9
	ベーコン	1	10/29～11/8	56	7	12.5	11.1	7.7	308.5
	フェルテ	3	10/29～12/23	133	60	45.1	11.1	6.6	225.7

[ 資 料 名 ] 平成29年度～令和 6 年度試験研究成績書(カンキツ)

[ 研究課題名 ] 県西地域に適したアボカド品種の選定

[ 研究期間 ] 2017(平成29)年度～2024(令和 6)年度

[ 研究者担当名 ] 川田 祐輔 二村 友彬

[ 協力・分担関係 ]